

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第7回）議事概要

日 時 令和4年（2022年）11月9日（水）14：00～15：45

場 所 宝塚市立中央公民館 ホール

出席者 <まちづくり協議会>

仁川まちづくり協議会 綿 昭人会長

宝塚市高司小学校区まちづくり協議会 川島 昭会長

宝塚市光明地域まちづくり協議会 前川原 修一会長

宝塚市未成小学校地域まちづくり協議会 加藤 富三会長

宝塚市西山まちづくり協議会 久保田 洋一会長

まちづくり協議会コミュニティ末広 豊田 茂男代表

宝塚第一小学校区まちづくり協議会 山本 敏晴会長

逆瀬台小学校区まちづくり協議会 石谷 清明会長

宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会 押条 雅英代表

宝塚小学校区まちづくり協議会 喜多 毅会長

売布小学校区まちづくり協議会 笹田 光治会長

安倉地区まちづくり協議会 岡本 康夫会長

宝塚市長尾地区まちづくり協議会 阪上 良彦会長

中山台コミュニティ 松下 義弘会長

宝塚市山本山手地区まちづくり協議会 安達 みづほ代表

宝塚市西谷地区まちづくり協議会 二井 久和会長

<その他>

市民交流部 上田部長、浅井室長

市民協働推進課 新城課長、岡田係長 他

健康推進課 田中課長、中西係長、伊藤職員

宝塚NPOセンター 馬越氏、西中氏

宝塚市社会福祉協議会 前菌課長

傍聴者 なし

議事概要（要旨）

- 1 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第5回）議事概要の確認
各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、修正後、ホームページへ公開することが承認された。

- 2 地域ごとのまちづくり計画
 - (1) 「推進シート」及び「対話シート」の状況報告
市民協働推進課より、配布資料に基づき、実施状況の報告があった。
宝塚小学校区まちづくり協議会の推進シート、まちづくり協議会コミュニティ末広、逆瀬台小学校区まちづくり協議会の対話シートが共有され、該当のまちづくり協議会から報告があった

- 3 地域活動のデジタル化
 - (1) 10/12（水）まちづくり協議会代表者交流会ワークショップ
市民協働推進課及び宝塚NPOセンターからお詫びとフォローアップを実施する旨、説明があった。
 - (2) まちづくり協議会補助金（第4号：デジタル化促進事業）の用途
市民協働推進課より、配布資料に基づき、上記検討状況の報告があった。新たに申請書の提出のあったまちづくり協議会分も含めた事業計画書等が共有された。以下のとおり、該当のまちづくり協議会から報告があった後、質疑応答を行った。
ア 報告
 - (ア) 【仁川】申請のとおり、手続きを進めている。
 - (イ) 【高司】購入した備品をどう活用するかこれから検討する。
 - (ウ) 【光明】デジタル部を結成し、メンバーが確定した。機材の選定にこれから入っていく。
 - (エ) 【末成】活動拠点のWi-Fi環境を整える。役員が個人の回線を使用する必要がない状態にしている。また、そのネット環境を使用し、各デバイスを無線LANで繋ぐことで、災害時に学校でモニターやパソコンが使用できる環境にしたいと思っている。今後、どこまで届くかを確認しようとしている。購入した機材を有効に使いこなせるようになるかが課題である。
 - (オ) 【西山】Wi-Fi環境の整備、情報の一元化、バックアップ機材の準備、また、モニターを導入しようとしている。
 - (カ) 【一小】若手が中心となり進めている。ドロップボックス、スラックの導入を行っている。情報の共有化、つまり、どの端末でも情報にアクセスできる状態を作っている。

- (キ) 【すみれ】タブレット選定はほぼ確定し、明後日の運営委員会で共有予定。これから実際に活用していこうと思っている。
- (ク) 【長尾】機材は未購入。いかに多くの人に簡単に情報を発信できるかを検討している。
- (ケ) 【中山台】申請済みで機材を購入する段階である。どの機種を購入するかはデジタルが得意な人に集まってもらい決定した。コミュニティセンターを拠点にするが、Wi-Fiについては調整が残っている。社協のサポートを得て、福祉関係の部門が2か所を繋いで（会議をしたが、）うまくいった。機材が入れば、他でも活用しようと思っている。特に防災関連で5~6か所を繋いで会議ができないかと考えている。
- (コ) 【山本山手】コロナ禍で頻繁にWEB会議を開催したが、不具合があったため、そこを強化する方向で、申請書を提出した。
- (サ) 【西谷】機材はほとんど購入済み。会議用にモニターを購入した。年内に機材のテストを実施予定。次年度以降はスマホ等の講座を実施予定。西谷にはデジタル推進員がいる。

イ 意見交換

- (ア) 【中山台】デジタル化を進めるにあたって、教育（勉強会）が重要であると考え、進めていきたいと思っているが、具体的に何をすればよいか分からず困っている。良い例があれば教えてほしい。
- (イ) 【ゆずり葉】機材をデジタル化（オンライン会議等）だけに使うのはもったいないと考えており、日々の運営にも活用したいと考えている。宝塚NPOセンターの協力を得て、勉強会をこれまでに5回ほど開催している。全員がホストをできるようになることが目標である。詳しい人がいれば別だが、何をするのかはNPOセンターにお任せしている。NPOセンターさえ良ければこれから10回、20回やっても良いと思っている。（デジタルの）奥深さが分かってきた。

- (3) （※再周知）令和4年度まちづくり協議会補助金（第4号：デジタル化促進事業）の変更交付申請書の提出〆切のご案内
市民協働推進課より、上記について再周知があった。

4 新型コロナウイルス感染症を踏まえた地域活動

以下のまちづくり協議会より、地域活動の検討状況について、情報の共有があった。

- ア 【未成】10月29日、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設運営訓練を行った。ガウン等の対策備品を購入して実施したが、物理的な距離の確保が難しかった。

イ 【宝塚第一】 10月23日、Uganまつりを開催した。推定800～900人が来場。スタッフはマスク着用、参加者は自主判断。飲食ブースもあったが、現時点では問題は起こっていない。屋外の広いところで開催できたことが良かった。

ウ 【売布】 10月30日にハロウィンパトロールと題してイベントを開催した。アトム防犯パトロールを長い間できていなかったため、子どもと保護者にアトム110番の家を知ってもらうことを目的に行った。約70名の参加者を5コースに分け、約30分で通学路にある110番の家を3つずつ回り、プレゼントを渡すようにした。協力者へはまち協が事前に挨拶し、用意したプレゼントを受け渡した。子供の8割が仮装で参加するなど、地域が仲良くなったと感じた。本イベントは、事業計画になかったが、若手から意見があり企画書を見ると面白いと感じたため、社協のチャレンジ助成を受けて実施した。アンケートでは楽しかった来年もやってほしいとの声もあり、概ね成功したと感じている。

5 市民協働推進課からのお知らせ

以下(1)～(5)について、周知を行った。

- (1) 個人情報保護に関するお知らせ
- (2) イベント開催時における注意点
- (3) 会計担当者会の実施及び事前アンケートのお願い
- (4) 性的（セクシュアル）マイノリティに関する出前講座（人権平和室）
- (5) 令和4年度（2022年度）障害者週間記念事業

6 宝塚市健康づくり推進員活動に関するアンケート調査（健康推進課）

健康推進課より、配布資料に基づき、説明があったのち、意見交換が行われた。意見の概要は以下の通り。

ア アンケート様式のデータでの送付は可能か。

イ （健康推進課）可能である。

ウ アンケートは元推進員に直接送付するという事か。

エ （健康推進課）そうである。

オ 元推進員へ対するアンケートを代表者交流会で周知する意図は何か。R3の時点で何のお知らせもなく、地域からもどうなっているかという話があった。何の音沙汰もなかったところから急にアンケートの話が出てきたが、健康推進課としては、どう考えているのか。現状として、まちづくり協議会で健康と福祉に関してはまちづくり計画にも多く含まれており、そこに元推進員が携わっている面がある。令和3年の段階でアンケートを実施し、健康推進課として早い段階で把握すべきであったと考える。アンケートの結果で残すとなった場合は、残すのか。

- カ (健康推進課) まず、今回代表者交流会で周知を行った意図としては、これまで推進員の推薦をまち協に依頼していたため、アンケートを実施する旨をお知らせしたいと考えたためである。ここ数年、何も情報を発信してこなかったことは非常に反省をしている。もっと早く、これからどうするのかを相談すべきであったと考えている。健康づくり推進活動を廃止して、各まちづくり協議会で健康づくり推進活動を行う方に市の情報を提供する等、他のかたちに変えてしまってもよいものかどうか意見を伺いたいと考えている。
- キ 推進員だけではなく、まちづくり協議会代表者や健康福祉関係に携わっている方にもアンケートを取ったらどうかと思う。
- ク (健康推進課) まちづくり協議会代表者へもアンケートを送付させていただくことで良いか。なお、回答は強制しない。
- ケ 推進員は現在いないということか。当まち協では推進員が100歳体操を継続して実施しているが、推進員としてではなく、勝手にやっていたということか。
- コ (健康推進課) 現在は休止状態となっている。部会の活動としてされているのではないかと思う。
- サ 今年度会長になったが、推進員制度自体を初めて知った。これまでの市役所に集約していたやり方ではなく、まち協ごとに推進活動を進めるとしたら、やはり会長を中心にまち協の活動として進めていく仕組みにしておかないと(いけないと思う)。今回のように、まち協をスルーしてアンケートが行われてしまえば、地域の健康推進活動が希薄になってしまうと思う。
- シ 今年度会長になったが、一人だけ推進員を知っている。宝塚市は男女ともに全国的に平均寿命高く、健康意識が高い。アンケートを取って、委嘱を続けることとなれば、該当まち協の推進員の情報をフィードバックしていただけると有難い。コロナによって辞めましたではなく、継続性が大切であると思う。
- ス 当まち協の推進員3名は現在でも適宜報告してくれている状況で、元推進員本人に任期が切れている認識があるかも分からない。健康推進員制度が必要か否か今は分からない。まち協代表者でも知らない人が多いため、制度の説明から必要であると思う。
- セ (健康推進課) 説明を加えて、まち協代表者にもアンケートを送付させていただきたい。
- ソ 自身も推進員であるが、健康推進課から研修の報告等がなく、昨年にお問い合わせの際は、今どうするか迷っているとの回答であった。推進員を設けたのは、どのような背景で、実際に無くなっても問題がないのかを市として明確にしておく必要があると思う。各まち協が健康づくりについて、独自で活動をしている状態つまり、推進員が居なくとも各地域でやっている状態があることもあり、推進員だけにとどまらず広くアンケートをとるべきであると思う。地域はかな

- り（活動を）やっている、それを知らないのは健康推進課だと思う。
- タ 元推進員だけでなく、まち協代表者も含めて、アンケートを実施するという
ことで異議がないか。
- チ もっと役に立つ健康推進員にするということがテーマであると思う。
- ツ 役に立つと思っている。高齢者がこの（推進員が開催する活動の）ために出て
きており、続けてほしいと思っている。まち協代表者を含めて、アンケートを
実施するということが異議はないか。
- テ <特に異議はなし。>

7 宝塚市社会福祉協議会からのお知らせ

以下 (1) ~ (3) について、周知があったのち、質疑応答が行われた。

- (1) 当事者グループ立ち上げ助成
- (2) すみれの花基金事業助成団体募集
- (3) 福祉学習プログラム集 Ver. 2

ア 質疑応答

- (ア) (3)の福祉学習プログラム集の4ページについて、「逆瀬川地区センター」は「逆
瀬台地区センター」の間違いではないか。
- (イ) (社協) 間違いである。
- (ウ) (1)(2)の助成金のチラシについて、各まち協の定例会で地区担当職員から配
布してもらうことは可能か。
- (エ) (社協) 可能である。
- (オ) (1)の当事者グループ立ち上げ助成について、今年度限定か。
- (カ) (社協) 助成金制度自体はおそらく来年度も継続してあるが、助成を受けられ
る団体としては、立ち上げの時のみの1回だけ活用いただけるものである。

8 その他

- (1) 西谷に関するお知らせ (西谷)

収穫祭を開催する(チラシのとおり)。2025年関西万博でフィールドパビリオン
に立候補しようとしており(発起人は地域の若手)、それに向けたアンケートを実
施している。自治会連合会等にも配布している。名前を入力する欄があり、個人
情報保護の観点で問題あるかもしれないが、同意の上、協力いただける方は協力
してほしい。

- (2) 学校規模の適正化 (宝塚第一)

2025年、旧宝塚ホテルの跡地にマンションが完成予定であるが、現在、宝塚第
一小学区には現在約1100人の生徒がおり、教室が全くない状態である。市民が
声を上げて教育委員会と一緒に取り組んでいく必要がある。文科省が理想とする

規模に適合しない学校について、まち協が声を上げていかないといけないと思う。
(当まち協では、) 現在、ダイレクトに教育委員会とやりとりをしている。まちづくり協議会代表者交流会のような会議で、そうした問題を共有して、協議できればよいと思う。応援してほしい。

9 今後の日程

市民協働推進課により、配布資料に基づき、令和4年度の開催予定について周知があった。

以 上